

## 1 山づくりは 地域ぐるみで進めましょう (集約化と合意形成)

低コストで収益を上げるためには、施業地の集約化を進め、より大きな面積で主伐・再造林を行うことが大切です。集約化した森林では、計画的に路網を整備し高性能林業機械を導入した効率的な木材生産が可能となります。

一方、大面積な主伐 (皆伐) 地は、一次的に裸地が発生することや土砂の崩壊・流失なども懸念されることから、土地利用の形態や施業地の傾斜などを考慮し、関係者の合意のもとで取組みを進めることが重要です。ご理解とご協力をお願いします。



## 2 カラマツを植えて育てましょう (適地適木)

樹木はその生態から好む環境が異なるため、生育環境に最も適した樹種を選定することが大切です。佐久地域は降水量が少なく冷涼なため、一般的にカラマツの生育に適した場所が多くみられます。強風が吹きつける場所や地下水が溜まりやすい場所を除けば、概ね良好な成長が期待できます。

## 3 主伐・再造林の留意点 (立地・経営条件の見極め)

立地条件と経営条件が良好な場所で行うことが大切です。

土地の生産力 (地位) が高く、「道」からの距離が近い場所は、良質材生産に適し、木材搬出やその後の保育経費の軽減につながります。また、ササ等が面的に繁茂していないことや傾斜 30 度以内で作業が容易であることが望ましく、主伐・再造林とその後の保育に要する経費を含めた全体収支の見極めが必要です。



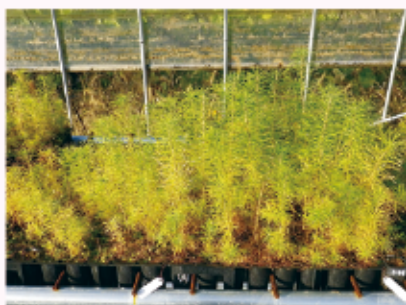
**良質材生産には、収穫を目指す木材の径級に応じて必要な時期に必要な手入を行うことが大切です。**

「主伐・再造林に関すること」や「森林づくりの補助制度」などのご質問やご相談は、  
佐久地域振興局林務課 又は お近くの市町村 までお問い合わせください

### トピックス：コンテナ苗

専用容器で育苗し容器内部の細長い隙間や突起により、根が垂直方向に伸長した根鉢付きの苗。細長く成形された根鉢が特徴で、植付けしやすく活着が良いというメリットがあります。

一般的な苗より高価ですが、今後の需要拡大が見込まれるため、関係機関での研究が進んでいます。



専用の器具を用いて植栽を行います

